

図柄入り平泉ナンバーの実現へ 実行委員会の設立総会

背景に地域独自の図柄を記した自動車のナンバープレートで地域振興や観光振興を図ろうと、図柄入り平泉ナンバー導入実行委員会の設立総会と第1回総会が12月27日、平泉町役場で開かれました。同委員会は、平泉ナンバーエリアの平泉・一関・奥州・金ケ崎の4市町、5商工団体と10観光協会で構成され、会長には一関商工会議所の佐藤暁僖会頭が選出されました。4月から図柄の公募を開始し、夏ごろには図柄入り平泉ナンバーを国に申請する予定です。



伝統工芸の魅力を紹介 平泉五感市

12月17、18日の両日、翁知屋を会場に「平泉五感市」(いわて県南エリア伝統工芸協議会主催)が開催されました。このイベントには秀衡塗の翁知屋(平泉町)、染め物の京屋染物店(一関市)、岩谷堂筆筒の藤里木工所(奥州市)、Iwayado craft(奥州市)、南部鉄器の佐秋鋳造所(奥州市)の5事業所が参加。伝統工芸の魅力を直接消費者に伝える体験型イベントとして今回初めて企画され、来場者は作り手の話を聞いたりして、さまざまな工芸の魅力に触れていました。



全国に競技の魅力を発信！ 弁慶力餅競技大会のプレ大会

1月1日、観自在王院跡を会場に第92回弁慶力餅競技大会のプレ大会が開催されました。この大会の様子は、NHK総合の「2017年新春！ニッポン“元気になるお宝百景”」で放映され、餅や競技の魅力を全国にアピールしました。競技には前回チャンピオンの佐藤信一さんと阿部由佳さん、タレントのユージさん、元格闘家の武蔵さん、ロンドン五輪銀メダリストで柔道家の杉本美香さん、筋肉アイドルの才木玲佳さんらが挑戦し、会場を盛り上げました。



さらなる交流発展へ 小笠原村を表敬訪問

12月18日から21日までの日程で青木町長ら6人が東京都小笠原村を表敬訪問しました。小笠原村とは、2011年6月の同時期に世界遺産登録を果たしたことをきっかけに、東京都庁で合同企画展を開催するなど主に観光面で連携した取り組みを進めてきました。今回の表敬訪問では、これまでの観光を中心とした連携に感謝するとともに、世界遺産登録5周年を契機に連携を深め、さらなる交流発展につなげることを確認しました。

百数十年ぶりに復活 神事「鬼難會」の裸参り

1月2日深夜から3日未明にかけて、達谷窟毘沙門堂で神事「鬼難會」が営まれ、明治初期の修験道廃止で途絶えていた裸参りが百数十年ぶりに行われました。当日は冷たい雨が降る中、下帯姿の男衆約30人が太田川に入水して身を清め、年縄を奉納。「懺悔懺悔、六根清浄」と唱えながら、井桁状に積み上げられた燃え盛る木に登り氣勢を上げ、最後に毘沙門堂から投げ落とされた一升餅の争奪戦などを繰り広げました。



家族らに囲まれ長寿を祝う 武田頼さんが満100歳を迎える

武田頼さん(21区)が1月1日、満100歳の誕生日を迎えました。12月23日には、平泉ホテル武蔵坊で武田さんの100歳を祝う会が開かれ、青木町長から武田さんに長寿を祝う花束と記念品が贈呈されました。武田さんは長寿の秘訣を「午前8時に起床し、午後9時には就寝。1日3食決まった時間に食事を取るなどの規則正しい生活をする」と話し、家族らのたくさんの笑顔に囲まれて長寿を祝福されました。



身近な防災について考える 「ひらいずみ女性の集い」開催

「第10回ひらいずみ女性の集い」が1月7日、平泉文化遺産センターで開催されました。集いには会員ら約150人が参加。第1部では、一関西消防署平泉分署副分署長の阿部慎也さんが「災害について」と題して講演し、災害意識の啓発やみんなの防災手帳の使い方などを紹介しました。また第2部では、第11区婦人会の佐々木由美さんと町保健センターの中津祐子主任主査保健師が事例発表を行い、家庭や地域で災害に備える大切さを語りました。



世界かんがい施設遺産に登録 平泉町・一関市を流る照井堰用水

平泉町と一関市を流る照井堰用水が、国際かんがい排水委員会が歴史や技術、社会的な価値のある水路などを認定・登録する「世界かんがい施設遺産」に県内で初めて登録されました。照井堰用水は、藤原秀衡の家臣の照井太郎高春が1180年ごろに開削したと伝えられる用水路で、水田へのかんがい、地域の生活用水などの役割を果たしています。12月26日には同用水を管理する照井土地改良区の小野寺道雄理事長らが青木町長を訪れ、登録を報告しました。